

healthycolumn
健康コラム
保健 医療 介護 福祉

●飯南病院 ☎72-0221 ●来島診療所 ☎76-2309 ●保健福祉センター ☎72-1770

**飯南病院
便り**



診療部長 松本賢治

総合診療について

～(1)総合診療医になるために～

今回から3回に分けて、皆さんの聞きなれない「総合診療」について、お話しします。

総合診療科は循環器内科や小児科、産婦人科と同じ専門科の1つです。まずは、この専門科で働く専門医になるための道筋をご紹介します。

医学部医学科に入学し、6年間の大学生活を終え、医師国家試験に合格すると医師免許がもらえます。医師免許をとって、すぐに仕事を十分に行えるわけではありません。そのため、2年間の訓練が義務づけられています。

この間に医師としての基本的な技術や知識などを身につけます。2年間の訓練を終えると義務はなくなり、何をしてもよいのですが、ほとんどの医師は専門科での専門的な研修を始めます。このとき医師は専攻医と

呼ばれ、おおよそ3年から5年の研修を行います。この専門科での研修を経て、専門医試験を受け、合格すると専門医になります。専門医取得まで医学部入学から考えると最短でも12年間ほどかかります。

飯南病院には、医科の常勤医師は6人います。専門医をとっている医師が3人、内2人が総合診療専門医、1人が総合内科専門医です。私を含め3人は専門医をとっておらず、内2人は総合診療医を目指す専攻医です。変な話ですが、私は総合診療専門医の特任指導医という専攻医を指導する資格を持っていますが、総合診療専門医はとっていません。今年、重い腰を上げて総合診療専門医取得に挑戦しようかと思っています。

いきなりですが、ここで質問です。飯南病院の常勤医には「内科医」は何人いるのでしょうか。先に言っておきますが、意地悪な質問です。ぜひ、お近くの飯南病院や保健福祉課の職員に聞いてください。5人でしょうか。それともいないのでしょうか。答えは次回に。

コラム



来て、見て、知った! 飯南町のこと

はじめましての回 神谷晴子です。山口県出身、島根大学卒業後、アコメヤに就職

飯南町まちづくり推進課の神谷です。(株)AKOMEYA TOKYOから、国の企業人材派遣制度を利用して、4月から飯南町役場に勤務しています。この制度は、三大都市圏に所在する企業の社員を、地方自治体に派遣して業務に従事させることで、地域活性化を図る取組です。飯南町とアコメヤの関わりは、飯南米である「コシヒカリ」や「縁結び」を取り扱っていることにはじまります。

私はこれまで、アコメヤでは店舗運営やイベント運営を行い、来られるお客様(消費者)と近い立場で仕事をしてきましたが、飯南町では真逆です。生産者が身近にいて、生産者が作った米や野菜、果物などを、その方の顔を思い浮かべて食べることができます。今までの生活から考えると不思議な感覚です。

身近で生産されたものを消費する、というのは、飯南町では当たり前にあることだと思いますが、産地と遠い都市圏の消費者はその意識が薄くなります。私(アコメヤ)のミッションは、生産者(産地)⇔消費者のつながりを今よりも太くする

こと、つまり、アコメヤの店舗がある関東圏・関西圏・地方都市のお客様に、単に商品を販売するだけではなく、生産者の思いやストーリーも一緒に届けることです。

このコラムでは、3カ月に1度程度、私が飯南町に来て感じたことや体験したことなど、ざっくばらんに書いていきたいと思います。また、LINEやInstagramなどを使っての情報発信もしています。広報誌の裏表紙にQRコードを載せているのでご覧くださいね。



千葉県の流山店オープン時の一枚。(写真右から3人目)

みんなで作る! 笑顔あふれる飯南暮らし

「笑顔あふれる飯南暮らし」をテーマに、各地域で取り組まれている活動を取り上げていきます。

第3回 「楽しい・面白い」を羅針盤にやりたいことはやる!

今回は高校担当の地域おこし協力隊の永瀬が高校や地域での活動をレポート

■高校での活動

高校生と地域の方をつなげ、高校生の「やりたい」ことを実現させることが仕事。しかし現状として、自分のやりたいことが分からない生徒も多くいます。そこで、発想を変え、私のやりたいことに生徒を巻き込むことに。段ボールでガチャガチャを作り、昇降口に設置。毎朝生徒が回してくれます。日めくりカレンダーも自作中で、挿絵を生徒に依頼中です。

■地域での活動

副業のサツマイモ栽培は土地を新しくお借りし、7アールから50アールに拡大。畝を区切って他者にレンタルするサービスを試験中ですが、自然科学部の生徒たちが利用してくれています。

■どんどん実践

自分の主観で「楽しい・面白い」と思うことは、どんどん実践していくべきです。万人受けしなくても、誰かが同じように面白いと感じれば、そこは熱狂的な空間になります。大人がやりたいことをどんどん実践する姿を見せれば、子どもたちがやりたいことを実現するときの勇気になるのではないのでしょうか。

ここがポイント!

- 自分の「楽しい・面白い」を実践し、周囲を巻き込む!
- 子どもたちのチャレンジを促すには、大人がチャレンジする姿を見せること!

楽しいいっぱい
図書館探検 飯南町立図書館

図書館でクールシェア!
●中央図書館 ☎76-2160
●頓原図書館 ☎72-0301

夏休み企画
7月20日(土)～9月1日(日)

●図書館スタンプカード
【中央館・頓原館】
小学生以下を対象に、スタンプカードを配布します。スタンプがたまったら、お菓子をプレゼントします。

●紙ひこうき選手権
【中央館】
館内に用意してある紙を使って紙ひこうきを折り、廊下で飛ばします。誰が一番遠くに飛ばせるか競います。

●動物の大きさ体験! コーナー
【中央館】
来島交流センターの廊下に、いろいろな動物の大きさを展示します。比べて、大きさを実感してみてください。

●大人の趣味講座
「コーヒーをたのしもう」
【来島交流センター 和室】
おいしいコーヒーの淹れ方を体験していただきます。
日時 10月18日(金)14時～
講師 石田 大輔さん

●犬猫バトル～あなたは犬派?猫派?～
【中央館・頓原館】
動物愛護週間にちなんで関連図書を展示するとともに、犬派か猫派かの投票をしてもらいます。
展示期間 9月2日～30日

●Sunday Story Time
「ストーリーテリング」
【中央館】
日時 10月20日(日)10時30分～

9月・10月の企画

楽しく読みたい
図書館探検 飯南町立図書館

●中央図書館 ☎76-2160
●頓原図書館 ☎72-0301

9月・10月の企画

楽しく読みたい
図書館探検 飯南町立図書館

